

## 当事者共生事業 “ななかまど Project” 報告

担当者: 秋山 満

### ●概要:

HIV 陽性者とその家族・パートナー・周囲の人の精神的な支えとなり、地域に根ざした情報を提供していくことを目的に

○HIV 陽性者のための面談ルーム 「くれば一緒に」 を実施している。

また、北海道 HIV 陽性者ピアグループミーティング事業「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」を 2014 年 6 月より定期開催。

※2024 年度も日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をいただいた。

### ●目的:

北海道に暮らす HIV 陽性者が「今よりもっと元気になるために必要としていること」を共に考え、形にしていく。

### ●経過:

- ・「くれば一緒に」 予約制 毎月第 2・第 4 日曜日 13:00-15:00
- ・「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 偶数月第 3 土曜日開催 2024 年度は全てを札幌で開催  
期日 4 月 20 日・6 月 15 日・8 月 17 日・10 月 19 日・12 月 21 日・2025 年 2 月 15 日  
(4 月 20 日・2 月 15 日は申込みが少なく中止)

### ●結果・効果:

- ・ 2024 年度において「くれば一緒に」の利用は無かった。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」 2024 年度の参加延べ人数は 15 名となり、これまでの開催 54 回で参加延べ人数は 455 名となった。(昨年度は全 4 回で 19 名)  
6/15:4 名、8/17:3 名、10/19:4 名、12/21:4 名)
- ・ 2/27 に JustWorldwide 株式会社様による、HIV 関連企業に関する調査を 2/27(木)に Zoom により HIV 陽性当事者に対するインタビュー形式でお引き受けしました。

### ●課題:

- ・ 「くれば一緒に」の利用についてはここ数年ゼロの状態が続いている。
- ・ 「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」は人目があるから地元では参加できないけど札幌だったら…という意見もあり、当面は札幌のみでの開催としたい。
- ・ API-Net のエイズ動向委員会の 2024 年速報値では新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数は 1000 名となり前年より増加したが、治療薬の進歩により 2013 年以降感染報告数は減少傾向にある。また、Xをはじめとした SNS や 9monster などの出会いアプリでも HIV 陽性であることを顔出しで公表する人が増え、『HIV 陽性者交流会』以外でも相談や出会いの機会が増えていることから、今後『HIV 陽性者交流会』の参加者が大きく増えることは難しいと考える。  
一方、HIV 陽性者に対しさまざまなプラットフォームの一つとして『HIV 陽性者交流会』を継続実施することは意義のあることと考える。2025 年度についてもフライヤーを製作し、保健所・拠点病院へ「HIV 陽性者交流会 in HOKKAIDO」開催について改めて周知を図り、新規利用者の開拓につなげていきたい。
- ・ あわせて、全国 HIV 陽性者ピアサポート円卓会議にて作成した全国の HIV 陽性者交流会を紹介したフライヤーについても北海道内の保健所・拠点病院等へ配布したい。
- ・ HIV 陽性者交流会 inHOKKAIDO については 2025 年度も、日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス様から協賛をご了承いただいている。